

講義一討論形式の授業について

学校教育・佐藤公代

< 1 > 授業の概観

小学生期を中心に「〇〇と子ども」シリーズで講義し、討論形式の授業形態をとる。各自、調べてきて発表するのでレジメの用意も必要である。

1 回目 (4/10) : 児童期の諸問題について概説し、授業のやり方を説明する。各自、レポートする課題を見つける。2 回目 (4/17) : 親と子ども、3 回目 (4/24) : 教師と子ども、4 回目 (5/8) : 授業と子ども、5 回目 (5/15) : 塾と子ども、6 回目 (5/22) : 不登校と子ども、7 回目 (5/29) : いじめと子ども、8 回目 (6/5) : 校則・体罰と子ども、9 回目 (6/12) : 思春期と子ども、10 回目 (6/19) : 読書・漫画と子ども、11 回目 (6/26) : 遊びと子ども、12 回目 (7/3) : テレビと子ども、13 回目 (7/10) : パソコン、テレビゲームと子ども、14 回目 (7/17) : 対人関係と子ども、15 回目 (7/24) : まとめと最終講義、授業評価のアンケート。

レポートの提出期限は 2009 年 7 月 27 日 (月) 16 時まで。表紙にはテーマ (自分で見つけたもの)、キーワード、書いた感想、名前を書いてもらい、4000 字以上の用紙につけて提出させた。

授業の時間配分は、30 分講義、30 分討論、30 分各グループからの発表とまとめ、とした。人数は 16 人なので、3 グループとした。グループは固定していないが、大体座る場所が決まっているので、大体同じメンバーでの討論になった。

< 2 > 授業評価法

アンケートは以下の通りである。

1. 講義+討論形式の授業に
 - 1) 「非常に興味をもった」～「全く興味がなかった」の 5 件法と理由
 - 2) 「非常に役だった」～「全く役立たなかった」の 5 件法と理由
2. 「〇〇と子ども」シリーズで第何回のところにどのような興味をもったか。
3. レポーターになって、「非常に良い」～「非常に悪い」の 5 件法と理由。

4. レポーターになって調べ方に、「非常に苦労した」～「全く苦労していない」の 5 件法と理由。
5. レポーターになって気をつけたことは、「大いにあった」～「全くなかった」の 5 件法と理由。
6. 手作りお菓子・飲み物を出してもらって、「非常に嬉しい」～「全く嬉しくない」の 5 件法と理由。
7. 「児童期の諸問題」で得られたことは、「大いにあった」～「全くなかった」の 5 件法と理由。
8. 自由に書く欄

< 3 > 授業評価結果

1 の 1) について、「非常に興味をもった」31%、「興味をもった」69%であった。理由を書いた人は 81%、書かなかった人は 19%であった。1 の 2) について、「非常に役だった」6%、「役だった」88%、「わからない」6%であった。理由を書いた人は 81%、書かなかった人は 19%であった。

2 について、7 回目「いじめと子ども」と 10 回目「読書・漫画と子ども」がそれぞれ 18%、75%、2 回目「親と子ども」、3 回目「教師と子ども」、5 回目「塾と子ども」、8 回目「校則・体罰と子ども」、9 回目「思春期と子ども」がそれぞれ 12%、5%だった。全員が選んだものに理由を書いていた。

3 について、「非常に良い」19%、「良い」69%、「わからない」12%であった。理由を書いた人は 94%、書かなかった人は 6%であった。

4 について、「苦労した」63%、「わからない」12%、「苦労していない」25%であった。理由を書いた人は 88%、書かなかった人は 12%であった。

5 について、「あった」81%、「わからない」19%であった。理由を書いた人は 94%、書かなかった人は 6%であった。

6 について、「非常に嬉しい」100%であった。理由を書いた人は 94%、書かなかった人は 6%であった。

7について、「大いにあった」31%、「あった」63%、「わからない」6%であった。理由を書いた人は94%、書かなかった人は6%であった。

8について、記述したのは63%であった。1～7の理由について順不同に列挙する。

1の1)「非常に興味をもった」理由は「他の人の意見が知れたから」「友達の見聞を聞いて、自分の意見を深める事ができました」「講義+討論形式は初めてだったから」「講義だけでなく討論もすることで、理解がより深まった」であった。

「興味をもった」理由は「自由に意見を言えそうだったから」「〇〇と子どもといった様々なテーマでたくさん考えることができた」「他の人の意見が聞けたから。話し合った方が理解を深めやすい」「興味のあることを追求できるから」「大学の講義は、教授の話聞くだけのものの方が多い気がするから」「うちとけて話をする中で身近なことから発見ができた」「意見交換の機会があるのが良かった」「学生同士で意見を言い合える機会がなかなかなかったのが面白かった」「先生の話やレポーターの話があったあと、複数の人の考えが聞けていろんな視点をもてた」

1の2)「非常に役だった」理由は「討論の中で新たな疑問も生まれて良かったです」であった。

「役だった」理由は「自分の考えもしなかった意見を知れて、考え方のプラスになったから」「今の児童の実態がわかった」「討論により多様な意見を聞けたから」「他の人がどのような考えをもっているか共有したり知ったりする機会になったから」「いろいろな情報を得た後、皆と話し合うことで深めることができたから」「新しい形式で新鮮だった」「いろんな人の意見が聞けた」「あまりない形式だったので、自分のためになった」「他の人が経験してきたこと、意見を聞くいい機会だった」「様々な意見が聞けて面白かった」「先生の話やレポーターの話があったあと、複数の人の考えが聞けていろんな視点をもてた」であった。「わからない」理由は「お互いの考えや思いを言えたのでよかったが、力がついたのかわからないから」であった。

2の興味理由は、第2回目「親と子ども」では「親子の考え方違いに」「深い人と人とのつながり」、第3回目「教師と子ども」では「子ども、教師の立場以外の第三者からの視点で学べたところ。将来教師になるか迷っていたので参考になった」

「教師は子どもに様々な面において影響を与えるということ」、第5回目「塾と子ども」では「塾が子どもにどのような良い影響、悪い影響を与え

るか」「行っていた人と行っていなかった人の意見が聞けた」、第7回目「いじめと子ども」では「いじめはとても重要な問題なので興味があった」「自分のまわりの人の経験や対策について知れた」「みんなの体験談が聞けて、いろんなケースがあるんだなと思った」、第8回目「校則・体罰と子ども」では「意外な校則・体罰を知り、普段あまり考えていなかった内容を考えるきっかけとなったから」「様々な校則があり、興味をもてた」、第9回目「思春期と子ども」では「思春期の子どもに出てくる心理的特徴」「元々、思春期をむかえた子どもに対して、どのように接すればいいのかわからなかったのが」、第10回目「読書・漫画と子ども」では「朝読書の効果などに興味をもった」「大人の読書が子どもに大いに関連していること」「読書をすることで子どもにどう影響があるか今まで考えなかった分勉強になった」であった。

3の「非常に良い」理由は「自分の意見を伝え、まとめる練習になった」「自分が責任をもって調べるから」「普段は調べないことも興味をもっていろいろと調べられたから」であった。「良い」理由は「皆にどのように言ったら分かりやすく言えるか考える意識が強まったから」「みんなの前で発表する勇気がつきました」「勉強するから」「自分で調べることによって興味がさらにわき、もっと深く調べたり、考えたりしたいと思えた」「レポーターをすることで、自分が伝えたいことを伝えられた」「討論の前に自分の意見をもてるから」「一つの内容を自分で深めることができたから」「自分で調べてそれを発表する機会が得られたから」「テーマについて深く学習できたと思う」「発表の際にしっかりすることは今後大切になるだろう」「全体の前で発表する練習になってよかった」であった。「わからない」理由は「人前で発表することは勉強になったが、うまくできていたか分からない」であった。

4の「苦労した」理由は「多くの資料の中から一番信頼できるのを選ぶのに苦労しました」「思っている通りの資料がなかなかみつからなかったから」「なかなか、自分の探したい資料がみつからなかった」「本の探し方がわからないから」「インターネットだけでなく、幅広いメディアを利用して調べたから」「文献を見つけて、どのように使うか迷った」「どんなことを話そうか考えるのが大変だった」「資料を集め、まとめるのに苦労した」「まずどこに着目したいか、どう調べるか迷った」「どのようにまとめようか迷ったり、どうしたら分かりやすいかいろいろと考えないと

いけないから」であった。「わからない」理由は「インターネットで検索するのも難しいが、本で調べた方が苦勞すると思うから」であった。「苦勞していない」理由は「自分の興味をもっているテーマだったから」「たくさんの情報を得ることができましたが、逆に何を中心にまとめたらいいのか整理するほうに少し苦勞した」「ネットで調べられた」であった。

5の「あった」理由は「皆の意見を集約してまとめるのが大変だったから」「簡潔にまとめて発表するように努力しました」「わかりやすい流れで話すことを中心に気をつけた」「できるだけわかりやすい文にすることを気をつけた」「考察などで自分の意見を入れること」「わかりやすく発表するため話し方に注意したから」「発表する際できるだけゆっくりハキハキと話すようにした」「わかりやすくするために項目があるよう気をつけた」「わかりやすくまとめる」「わかりやすい説明ができるように気をつけた」「できるだけ簡略して見やすくなるよう心がけた」「発表するときにみんなにわかりやすいように伝えること」「レポーターにも他の学生にも有益な情報を共有できるようにすること」であった。「わからない」理由は「何も考えていなかった気がする」「ネットで調べることに片寄ってしまった」であった。

6の「非常に嬉しい」理由は「毎回毎回いつも楽しみにしていました。どのケーキもおいしかったです」「毎回おいしく頂きました。なごやかな雰囲気の中、自分の意見が述べやすかったです」「とても美味しかったから」「先生の手作りお菓子はおいしく、毎回楽しみでした」「毎回楽しみでした」「おいしいから」「授業に意欲がわくし、和やかな雰囲気のできるから」「おいしかったから。気持ちになごむから」「とてもおいしかったです。和やかな雰囲気に楽しく授業が受けられました」「おいしかったから。和むことができたと思う」「一息つけるので授業に集中できる」「おいしかった。和んだ」「毎回楽しみにして授業に来れるから」「とてもおいしかったです」「おいしかったです」であった。

7の「大いにあった」理由は「様々な観点から子どもということをつえられて、今後の教育活動への勉強に役だったから」「子どもの発達段階を考えて、子どもと接することの大切さを学びました」「様々な角度から児童を考えることができた」「今後の勉強にもいかされると思う」「他の授業であれこれ知っていると思うなど勉強につながった」であった。「あった」理由は「過去を振り

返り、経験と照らし合わせて考えることが出来たから」「知らなかったこともたくさん知れたし、興味をひかれるものが多かった」「フリーの討論の勉強になった」「現在のこども達の現状を考えたりあり方を話し合ったりできたから」「皆の過去の話や考えなどを話し合いの中で知ることができたから」「子どもについて様々な考えを知ることができた」「いろいろな分野について考えることができた」「気楽にそして友達と緊張せずに様々な問題について話し合えた」「子どもについて深く考える時間が設けられた」であった。「わからない」理由は「今はよくわからないけど、教師になったり、子どもと接するようになったら思い出すのではないかと思うから」であった。

8の自由記述は以下の通りである。「先生の授業楽しかったです。ケーキも毎回おいしかったです。ありがとうございました」「毎回おいしいケーキをつくって下さり有り難うございました。もう先生のケーキが食べられなくなるのは悲しいです。私も先生のように優しく家庭的な女性になりたいです。あと、お誕生日おめでとうございました」「大学は学ぶところであるということを感じさせられる授業であった。自由が与えられている分何もやらなければ何も身につかず、頑張れば自分の力になる。もっと頑張れたのではないかと反省をしている」「児童期について自分自身のこと振り返りながら考えることができる授業だったのでわかりやすかったです」「ケーキとてもおいしかったです」「講義とケーキありがとうございました」「先生の雰囲気からも授業に楽しく取り組むことができました」「おいしいケーキに紅茶を出してもらいすごく楽しみな授業でした。緊張を強いられることなく気楽に学べて良かったです」「授業の雰囲気が話す内容に関連すること知ることができました」「心理学文献講読、児童期の諸問題と2つの授業でお世話になりました。あと半期がんばってください。お疲れさまでした」

以上、学生が書いたとおりに書き並べた理由は、下手に分類したり解釈するよりも生の声そのままを読みとって下されば何かが伝わると思ったからである。

<4>まとめ

学生からの率直な意見を聞いて、今回の授業はまんざらでもなかったのだと思った。定年を前に「飛ぶ鳥あとを濁さず」になれたのかなとも思った。

レポートの採点をしてみると、テーマを自分で

考え、授業中の講義や話し合いを上手に取り入れ、各自の文章スタイルで書いてきている。

最終講義でも「研究する心をもて」という題で話したせいか、自主的・創造的な行動は見られたようである。いつまでも実践できていることを願ってこの報告を終えることにする。後にも先にもこれで授業評価の原稿は終わりである。

授業評価は教員の授業改善のためにあるのだから、常日頃、自分の授業を振り返り改善しなければならない。そのためにも、年に1回といわず、前期・後期毎に授業改善の原稿を出してみんなで討論会を開いても良いことだと思う。蛸壺にはまらないで良いことはどんどん取り入れ、よりよい授業目指して頑張りたいものである。